

平成の

トレンドこんなの知ってる？

()の中に入る物や人物などの名前をこたえてね。



平成 18 年

1 ()

この年に、任天堂から発売された世界で一億六千万台売れた家庭用テレビゲーム。

この年の流行語大賞

「イナバウアー」 「品格」



平成 20 年

2 ()

日本でも販売されて当時とても話題となった、アップル社が開発したスマートフォン

この年の流行語大賞

「グー」 「アラフォー」



平成 8 年

3 ()

バンダイから発売されたキーチェーンゲームであり登場するキャラクターのことでもある。

この年の流行語大賞

「メークドラマ」 「友愛／排除の論理」

「自分で自分をほめたい」



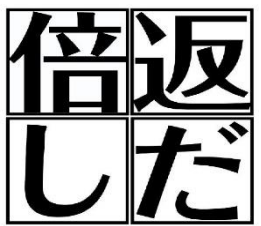
平成 28 年

4 ()

新海誠による、日本の長編アニメーション。挿入歌として「前前世」が有名

この年の流行語大賞

「神ってる」



平成 25 年

5 ()

堺雅人が主演を演じたテレビドラマ。主人公の決め台詞「倍返しだ」が話題となった。

この年の流行語大賞

「今でしょ」 「じえじえじえ」

「倍返しだ」 「お・も・て・な・し」



平成 30 年

6 ()

1992年から2018年まで活動していた、アムラー等の社会現象を引き起こした歌手。

この年の流行語大賞

「そだねー」

全ての答えは3ページで

中山間地域を知ろう !!

— 「やまびこチャレンジ」と中山間地域に関する図書の紹介 —

やまびこチャレンジ



Yamabiko Challenge
Challenge, Communicate,
Connect, and Change

浜松学院大学で誕生した「やまびこチャレンジ」は、北遠の春野町に位置する「勝坂」をはじめ、中山間地域における地域活性化支援のために様々な活動を行っています。

「やまびこチャレンジ」は、「まなぶ」「つたえる」「つなぐ」「かえる」の4つのテーマを基にしており、主な活動内容としては、浜松市内の中山間地域に伝わる伝統芸能や歴史を学び、少子高齢化により衰退する中山間地域の活性化に向けた提案と名製品の販売、そのほか地域の資源を活かしたレクリエーション活動を行っています。

※詳細は「<http://www.yamabiko-nlc.org>」をご覧ください。

本学の図書館には、「勝坂」のような中山間地域に関する本を多く所蔵しているため、中山間地域に興味を持っている、読んでみたい、と思われた方は是非布橋図書館にお越しいただき、お目当ての本をお探しく下さい。



中山間地域を知るために !! ライブラリーメイトがおすすめする図書



『大学生限界集落へ行く』 【 318.6 ||Da 】 図書番号: 30118127
専修大学経営学部森本ゼミナール編 (専修大学出版会)

大学生が過疎地住民との交流を通じ活性化について考えた体験談



『地域おこし協力隊 - 日本を元気にする 60 人の挑戦 -』
椎川忍ほか編 (学芸出版社) 【 318.6 ||Ch 】 図書番号: 30118383

自治体(地域)活性化のために立ち上がった実践者の報告事例集



『中山間地域の「買い物弱者」を支える』
関満博著 (新評論) 【 318.6 ||Se 】 図書番号: 30118515

過疎地域での買い物弱者を支援する様々な取り組みを紹介する書

先生のおすすめ本

今回は、子どもコミュニケーション学科・地域共創学科それぞれ 3 名の先生方におすすめ本のアンケートに答えていただきました。学生にぜひ読んでもらいたい堅い本だけでなく、先生お気に入りの柔らかな本も紹介しています。（表示：堅い本○ 柔らかい本★）

小山内 秀和 先生【子どもコミュニケーション学科】



- 『選択の科学』
シー・アイエガー著（文春文庫）
- ★『スキップ』
北村 薫著（新潮文庫）

○は「選択」という日常的な行動に科学的に迫る内容です。★は、17歳の主人公の心情と、学校的情景がみずみずしく描かれています。

浦谷 淳子 先生【地域共創学科】



- 『Charlotte's Web』E. B. White 著
- ★『わたしのそばでできいていて』
リサ・パップ 作 菊田まりこ訳
- ★『「働く幸せ」の道』
大山泰弘著（WAVE 出版）

○は命の大切さがテーマのお話です。日本版、映画もあります。★は教職を目指している方にとくに おすすめです。

山谷 清秀 先生【地域共創学科】

- 『18 歳からの民主主義』
岩波書店編集部編（岩波新書）
- 『呼び覚まされる霊性の震災学 - 3.11 生と死のはざままで-』東北学院大学金菱清〔ゼミナル〕編
- ★『神は沈黙せず上・下』
山本 弘著（角川書店）

★は SF の最高傑作だと思います！

島埜内 恵 先生【子どもコミュニケーション学科】



- 『脱学校の社会』
ヴァン・リッヂ著（東京創元社）
- ★『みらいの教育—学校現場をブラックからワクワクへ変える—』
内田 良、苦野一徳著（武久出版）

「学校」という場所や「教育」という営みを多角的にまなざすきっかけをくれる本だと思います。

柘植 美文 先生【子どもコミュニケーション学科】



- 『特別支援学校教員という仕事・生き方』
藤原文雄、岩見良憲著（学事出版）
- ★『さこの日記』
鈴木聡子文（ひくまの出版）

○は日本初！特別支援学校教員のライフヒストリーをまとめた本です。★は病気と闘いながら学校に通った少女の日記をまとめたものです。

土倉 英志 先生【地域共創学科】

- 『ありがとうもごめんないもいらぬ』
- 森の民と暮らして人類学者が考えたこと -
奥野克巳著（亜紀書房）
- ★『うしろめたさの人類学』
松村圭一郎著（ミヤマ社）

私たちが「あたりまえ」「常識」と思っていることを揺さぶってくれる本を選んでみました。学生のうちにぜひ揺さぶられてください。

表紙の答え： 1. Wii 2. iPhone3G 3. たまごっち 4. 君の名は 5. 半沢直樹 6. 安室奈美恵

短大部ライブラリーメイト通信

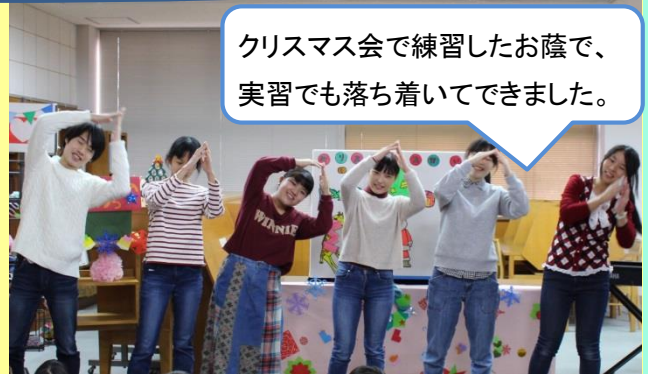
今年も【Christmas会】を行いました！

ライブラリーメイト代表 2年 杉浦なおみ

今回のクリスマス会では2つの「手遊び」と「絵本の読み聞かせ」、そして「パネルシアター」を行いました。

「手遊び」のうちの1つは、この日のために自分たちでクリスマスアレンジを施したもので、子どもたちが指を動かして真似してくれたことが印象的です。

クリスマス会で練習したお蔭で、実習でも落ち着いてできました。



「読み聞かせ」の絵本は長野ヒデ子、本間カヨ子作・絵『とのさまサンタ』（あすなる書房）で、子どもたちはとても静かに聞いてくれていました。

パネルシアターでは私たちからの問いかけに元気に答えてくれ、最後まで笑顔の絶えないクリスマス会を今年も開催することができて良かったです。

準備は大変で、当日は緊張しましたが、それ以上に子どもたちが可愛らしく、楽しく、嬉しかったです！

プレゼントに用意した折り紙で作った「腕時計」。みんな喜んで着けてくれました。



1年生・2年生が協力し、とてもいいクリスマス会ができた。やっていた楽しかったです。

パペットの“おさるのジョンタ”ジョンタを離さない子もいて、「クリスマス会を楽しんでくれたんだ」と実感！



『HGU Library News』 vol. 14

発行日：2019年1月31日

発行者：浜松学院大学

浜松学院大学短期大学部

ライブラリーメイト